

宜 基 渉 第 35 号
平成 28 年 12 月 14 日

沖縄防衛局長
中嶋 浩一郎 殿

宜野湾市長 佐喜眞 淳

MV-22 オスプレイの不時着水について（抗議・要請）

標記の件について、普天間基地所属の MV-22 オスプレイが、空中給油訓練実施中に不具合が生じたため、影響を最小化するために海岸沿いを飛行していたが、途中飛行が困難になり、浅瀬に着水をしたとの報告を貴局より受けました。

また、オスプレイに関しては別の機体が、着陸時にランディングギアが壊れたとの報告も受けているところであります。

今回の事故では、住民や搭乗員が犠牲になるということはありませんでしたが、一步間違えれば大事故に繋がる恐れもあり、特に住宅地に囲まれた普天間飛行場周辺で同様な事故が発生した場合、大惨事になることはいうまでもなく、市民にも大きな衝撃と不安が広がっております。

航空機事故に関しては、これまでも抗議し、事故原因究明及び再発防止の徹底を求めてまいりましたが、その内容も示されないまま、事故が繰り返される現状に強い憤りを禁じ得ません。

つきましては、MV-22 オスプレイの不時着水に強く抗議し、徹底した事故原因の究明及び公表、さらに、安全が確認されるまでの間の MV-22 オスプレイの飛行停止を強く求めるとともに、具体的な再発防止策を速やかに策定し公表するよう要求いたします。

また、問題の抜本的解決のためにも、市民の強い願いである普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還と、5年以内運用停止をはじめとする危険性除去及び基地負担軽減を早急に実現するよう併せて強く要請いたします。